

"BIG DREAMS"with" BIG SMILE"

“自己実現 自主自立 そして夢の実現”

このうら

佐世保市立神浦小学校
学校便り

開校式特集① No.52

平成28年3月8日(火)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

～感謝～ 神浦小学校 閉校式



皆様に見守っていただきながらの閉校式

平成28年3月6日(日)、141年の歴史と伝統ある本校、佐世保市立神浦小学校の閉校式を行いました。その後、引き続き、閉校記念事業実行委員会の主催の元、閉校記念事業として『閉校記念碑除幕式』と『思い出を語る会』が開催されました。

佐世保市 副市長 山口 智久様をはじめ、多数のご来賓の皆様、佐世保市教育委員会、歴代の校長先生や先生方、そして地域の皆様方にお越しいただき、見守って頂きながらの閉校式。地域の皆様に支えていただきながら、子ども達が自分らしく、堂々と活動する、神浦小学校らしい閉校式となりました。

当日は、前日までの春到来を思わせる陽気の好天から一転し、雨の朝を迎えました。閉校式の最中には激しく屋根をたたく音が響くほど、時折激しく降りましたが、除幕式の時点からは雨も止み、無事にすべての行事を終えることができました。式辞の中ではあえて触れませんでした、やはりあの雨は、本校の閉校を惜しむ地域の方々的心を表す涙雨であったと思います。



校長式辞



教育委員会告辞



市長挨拶 (代理:副市長 山口智久様)



P T A 会長挨拶

P T A 会長挨拶の中では、母校として、そして保護者として、P T A 会長として関わられた想いを次のように述べられました。(抜粋)

「最後の一年で眼にしたのは日々遅く成長していく子ども達の姿。最後の運動会では子どもや地域の皆様の笑顔を見た時、閉校へのやりきれなさや淋しさが洗い流されるような清しい感動を覚え、学習発表会では子どもと地域の間で育まれた心の絆の強さに胸が震えた。この絆こそが神浦小学校が残してくれた大いなる遺産であり、心の中に神浦小学校がある限り決して消えることはない。」

また児童代表として、神浦小学校最後の卒業生となる6年生の瀬尾さんが、大好きな神浦小学校の思い出と決意を述べました。(抜粋)

「神浦小学校での思い出は数え切れないほどある。運動会での皆さんの笑顔と声援は一生忘れない。数々の思い出は自分を大きく成長させてくれた。寂しさは言葉では表現できないが次への新しい第一歩。笑顔で仲間を大切に思う気持ちは宇久小学校にも受け継ぎたい。夢をあきらめず努力を続ける事の大切さを学んだ神浦小学校を誇りにし新しい一歩を踏み出す。神浦小学校、ありがとう。これからも見守ってね」



児童代表挨拶